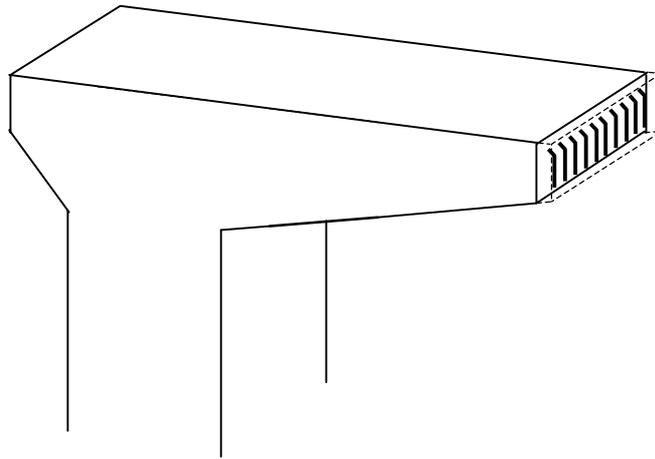
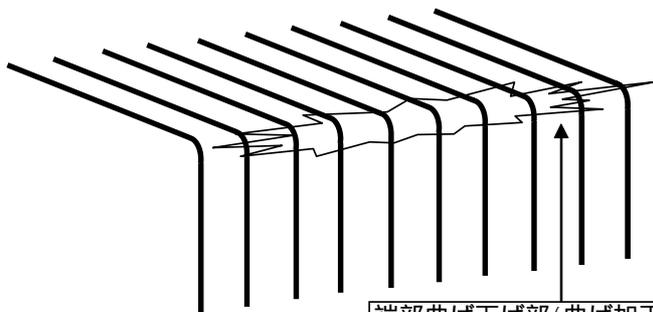


阪神高速道路東大阪線の橋脚損傷状況

(平成 14 年 2 月に損傷を発見し補修を行った事例)



損傷部の配筋イメージ



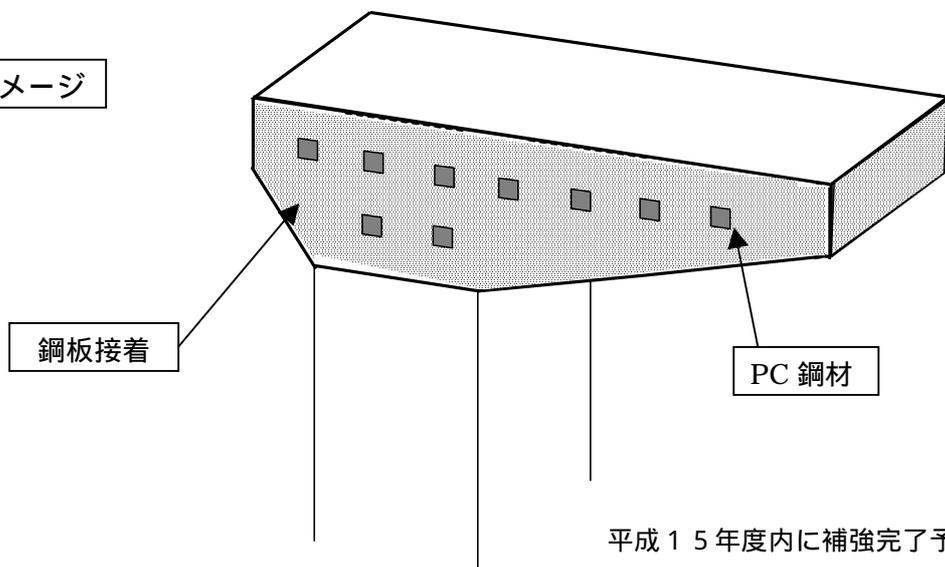
端部曲げ下げ部(曲げ加工部)での破断を確認

鉄筋の破断状況



「ASR 橋脚の維持管理に関する検討委員会」(委員長：宮川豊章 京都大学大学院教授)において、耐荷力上は重要度の低い部位であり緊急性を要するものではないと判断された。破断箇所は溶接により鉄筋量を回復し、安全な状態にある。

補強イメージ



平成 15 年度内に補強完了予定